学校便り「戸町っ子」No.２３

「平和のバトンを次世代へ」

本日、本校で二重被爆者として知られる故・山口彊さんの孫、原田小鈴さんをお招きし、被爆体験講話を行いました。原田さんには、祖父・山口さんの壮絶な体験を、小学生にも分かりやすい手作りの紙芝居で丁寧に伝えていただきました。広島で被爆し、その後の惨状の中で長崎にたどり着いた祖父の苦しみ。その悲しみを、時に短歌で、時に語り部として伝えてこられた歩みに、子供たちも真剣な眼差しで聞き入っていました。

私が特に感銘を受けたのは、原田さんが現在、広島・長崎に原爆を投下した米兵の孫であるアリ・ビーザーさんと共に、平和を訴える活動をされていることです。かつて争った二人の孫が、平和を願って手を取り合う姿は、未来への大きな希望です。お二人が出版された『「キノコ雲」の上と下の物語』に込められた願いを、私も改めて深く学ぼうと考えています。

講話の中で、原田さんは「平和のために自分にできることを考えて、行動に移してほしい」と子供たちに熱く語りかけてくださいました。戸町小学校で大切にしている「グリーンハート」は、相手を思いやり、違いを認め合う力です。この心こそが、平和の土台となります。子供たちには、今日の講話で感じたことを胸に、身近な友達を大切にするという平和への第一歩を、明日からの行動に移していってほしいと願っています。

校長　原口　徹弥